

# 青年部大会・学習会



6月15日(金)、県教育センターにおいて2018年度県教組青年部大会および学習会が行われました。大会では新常任委員の5名が紹介され、今年度の青年部活動方針、今年度予算等について承認されました。

## 常任委員のみなさん

岩城 綾乃 部長 (明倫中)  
 安井 智子 副部長 (美浜中)  
 島田 拓也 副部長 (鯖江東小)  
 利内 美樹 書記長 (気比中)  
 月僧 博美 書記次長 (芦原小)  
**1年間、よろしくお願いします!**



前年度部長の佐藤亘さんからは、昨年の活動を通して感じた組合活動の意義などを話していただきました。

## 学習会

学習会では、前半にコミュニケーション改善コンサルタントの藤田由美子さんをお招きし、『笑顔を磨いて、イキイキ人生!!』と題して講演をしていただきました。保護者や地域の方々と良好な関係を築く

ための、苦情対応のコツなどを中心に話されました。

- ・ 第一声はまず笑顔で明るく挨拶  
→内容に応じて表情や声のトーンなどを変える。
- ・ こまめな相づちや単語復唱(ささやく程度)を活用する。
- ・ 「感謝」「謝罪」「共感」の言葉のレパートリーを増やし、頻繁に投げかける。

など、具体的な例や実演を交えながら丁寧に説明してくださり、大変充実した内容の講演となりました。

後半では、県教組の高間副委員長より、権利を活用することの重要性についての話がありました。



藤田由美子さん



## ♪参加者の感想♪

- ★ 実践しやすい内容で、明日から使えそうなものばかりでした。保護者対応等にいかしていきたいと思えます。
- ★ 声のトーンや、相づちの言葉一つで相手への印象が変わるということがよく分かりました。自分としては、相手に対して丁寧に受け取ってもらえると思っていた言葉でも、使い方を間違えると火に油を注いでしまう言葉もあると思いました。今後の対応に生かしていきたいです。
- ★ テクニックや語彙を準備しておくことの大切さと、それ以上に心構えの大切さを教えていただきました。
- ★ 権利に関しては、やはり自分から申し出をすることの重要性を感じました。それと同時に、お互い様の感謝の心を持ち続けていきたいと思えます。